

令和7年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立昭和中央小学校
(昭和中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数	理科
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0	
令和8年度	—	—	—
令和7年度	+3.2	+5.0	+7.9
令和6年度	−6.0	−8.0	—
令和5年度	+4.2	+3.0	—
令和4年度	−6.0	−8.4	

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<div><div>国語</div><div>本校 70% 全国 66.8% 県 69%</div><div>言葉の特徴や使い方</div><div>読むこと</div><div>情報の扱い方</div><div>我が国の言語文化</div><div>話すこと・聞くこと</div><div>書くこと</div></div>	重点課題	◎事実と感想などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することに課題がある。(設問3二(2))【読むこと】(平均正答率51.3%) ◎目的に応じて、文章と図表を結びつけるなどして必要な情報を見付けることに課題がある。(設問3三(1))【読むこと】(平均正答率40.8%) ◇文章を読むときに、目的に応じて読むことに課題がある。
	改善の方策	◎書き手がどのような事実や理由を事例として挙げているかに着目し、文章全体の構成を捉えるような読み方をさせる。 ◎読む目的を意識し、複数の情報を関係づけて整理しながら読み進め、必要な情報を取捨選択して自分の考えを表現する活動を取り入れる。 ◇読む目的を意識し、文章全体の構成を捉え、目的に応じた情報を取捨選択して要旨をまとめたり、文章を整えたりする活動を取り入れる。
	検証	◎◇全国学力(設問3二(2))の類似問題(第6学年、2月)目標65%→結果 ◎全国学力(設問3三(1))の類似問題(第6学年、2月)目標65%→結果
<div><div>算数</div><div>本校 63% 全国 58% 県 59%</div><div>数と計算</div><div>図形</div><div>測定</div><div>変化と関係</div><div>データの活用</div></div>	重点課題	◎複数の分数の共通する単位分数を見だし、それぞれの分数が、共通する単位分数のいくつ分かを数や言葉を用いて記述することに課題がある。(設問3(2))【数と計算】(平均正答率18.1%) ◎数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数のいくつ分として捉えることに課題がある。(設問3(3))【数と計算】(平均正答率31.3%) ◇問題の中から、数についての性質や数量関係を捉えることに課題があり、捉えたことも正しい用語を用いて表すことができない。
	改善の方策	◎数理の処理だけでなく、分数の意味や表し方に着目し、計算の仕方を説明させるようにする。 ◎1より大きくなったときの分数について、基準となる量に着目して考えさせる。また、数直線や図、具体物等を用いたり身近な経験と関連付けたりして理解させる。 ◇図や式、文章に着目させて数量関係を捉える活動を通して、解法への筋道を理解させる。
	検証	◎◇全国学力(設問3(2))の類似問題(第5、6学年、2月)目標50%→結果 ◎全国学力(設問3(3))の類似問題(第5、6学年、2月)目標50%→結果
<div><div>理科</div><div>本校 65% 全国 57.1% 県 59%</div><div>エネルギー</div><div>地球</div><div>粒子</div><div>生命</div></div>	重点課題	◎ものづくりについて学習したことを活用したり、解決の方法を発想したりしながら、問題を解決することに課題がある。(設問2(2))A区分 平均正答率41.0% ◎「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面上昇の理由を予想し、考えを言葉で表現することに課題がある。(設問4(3))A区分 平均正答率61.4% ◇理科に関する知識及び技能が乏しく、適切な予想や仮説を立てることに課題がある。
	改善の方策	◎第3学年以上において、自然の性質や規則性を適用した物づくりを行う。 ◎問題解決のための見通しをもち、予想・仮説を立て、観察・実験を行い、結果・考察を整理し、自分の予想との相違を言葉で表現する場を設定する。 ◇理科に関する知識や技能の習得、特に結果の予想を立てる際には、身近な生活体験と結びつけて考えさせていく。
	検証	◎◇全国学力(設問2(2))の類似問題(第5、6学年、2月)目標60%→結果 ◎全国学力(設問4(3))の類似問題(第5、6学年、2月)目標70%→結果

【来年度に向けて】